

技量向上支援 プログラム

— 航空会社機長経験者による —
気づきを促す**5日間**のプログラム

操縦士免許保有者を対象としたプログラム。
航空会社機長経験者による実践的なレッスンで、
計器飛行や進入方式を体系的に学びます。

プログラム内容

Day 1

VFR Traffic Pattern
& Steep Turn



Day 2

Holding &
Teardrop ILS Approach



Day 3

Radar Vector
ILS Approach



Day 4

VOR Approach



Day 5

統合レッスン
(Mini Circling選択)



実施概要



実施期間

全5回のレッスン

※目安：初回～最終回まで
約10～14日間



レッスン内容

レッスン前講義 (2時間)
FTDレッスン (90分)
+ Debriefing



使用機材

Flight Training Device (FTD)



実施場所

日本航空機操縦士協会 事務所
(東京都港区新橋)

応募資格

- ・ 事業用操縦士技能証明
(飛行機・多発)
- ・ 計器飛行証明 (飛行機)

プログラムの役割

このプログラムは、操作技術を「教え込む」ものではありません。
フライトマネジメントの考え方や、受講者自身の「気づき」を促すことを
目的として設計されています。

1



プロフェッショナルとしての
到達レベルを認識する

2



自分の現在の判断・
マネジメントと比較する

3



そのギャップに
自ら気づく



気づきが、あなたのフライトをもっと
安全に、もっと**確実**に。

お申し込み・お問い合わせは
JAPA ホームページから →

